



万燈通信

平成29年9月11日発行

第1回 学校評価へのご協力たいへんありがとうございました。

学校運営の改善に役立てたいと思います。今回は概要の説明です。

1 評価の高かった項目（「良くできている」「だいたいできている」の合計）

順	質問の概要	割合
1	お子さんは交通ルールを守り、気をつけて登下校している	97.3%
2	お子さんは健康診断の結果を生かすなど健康に気をつけている	96.3%
3	お子さんは思いやりの気持ちをもって友だちと接している	94.6%
4	お子さんは、毎朝朝食をとって学校に行く	94.6%
5	お子さんに適度な睡眠をとらせ、学校に送り出している	91.6%

<考察> 1は本年度教職員が最も力を入れている指導事項の1つです。現在、部活終了後は一斉に職員が下校指導したり、賀茂神社の丁字路まで交代で行き、交通指導を行ったりしています。命の大切さを今後も折に触れて指導するとともに、脇道から車が出てくるかも知れないという想像力を高め、自分の身は自分で守ろうとする態度を高めていきたいと思います。また、ヘルメットの着用や左側1列走行など繰り返し学校では指導します。ご家庭でもお子さんが出かけるときには、「気をつけて」と「ヘルメットをかぶって」の声かけをお願いします。

2、4、5は基本的な生活習慣に関わる質問で、養護教諭や栄養教諭のアドバイスのもとに担任が学級指導等を行ったり、保健委員会の生徒が全校集会でそれらの大切さを発表したりしています。これらの項目は、ご家庭の協力無しでは成果が上がらない項目であり、好結果に感謝申し上げます。学校では引き続き個別指導を行い、健康に関わる意識を高めていきたいと思います。

3は友だちとのトラブルを防ぎ、人間関係を良好にするために大切な項目です。本校では本年度校内研修で道徳を取り上げ、豊かな心の育成に努めています。2学期も様々な授業や行事を通して、体験に根ざした心の教育に取り組んでいきます。

2 評価の低かった項目（「良くできている」「だいたいできている」の合計）

順	質問の概要	割合
1	お子さんは家庭学習の仕方を分かっている	46.8%
2	お子さんは基本的な学習内容を分かっている	60.6%
3	中学卒業後の進路について話し合っている	77.1%
4	教職員は生徒間のトラブルや悩みなどに対応している	80.5%
5	学校への連絡や相談がしやすい	82.2%

<考察> 1、2、3は学習に関連する項目で、特に評価が低かったものです。

1の家庭学習実施には、「学習習慣」＋「学習意欲」が大切です。本校では「学習習慣」を身につけさせるために、授業に関連した宿題を教科毎に工夫して出しています。また、「学習意欲」を高めるために、1時間の授業の「めあて」を明確にし、何を学んだか「振り返り」を重視した分かる授業実践に努めてい

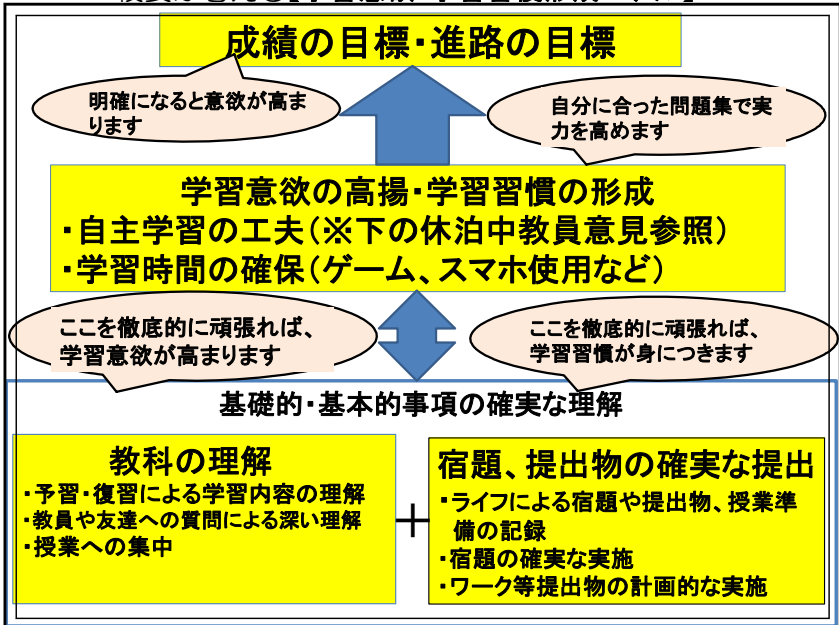
ます。そして、2の「学習内容」が分かる事が、「学習意欲」を高めるために最も効果があると思います。授業の理解度は一人一人違います。そこで、分からないことは進んで先生に質問したり（授業中又は休み時間や放課後）、友だちと一緒に考えたりして、定着を図って欲しいと思います。さらに、「学習意欲」を高めるもう一つの要素は、「目標」が明確であることです。つまり、3の卒業後の「進路」について、明確な目標が定まれば一層「学習意欲」も高まる事が期待できます。自分は「将来〇〇になりたい、そのために、どうしても〇〇高校に行きたい」となるために、日頃からご家族で将来の夢や希望について話し合っていたいただきたいと思います。

右は、校長が考える「学習意欲・学習習慣形成モデル」です。参考にして、お子さんにご指導ください。また、「家庭学習の仕方」について、休泊中の教員に聞き、下に記載しましたので参考にしてください。

いずれの例も、大切なのは「自分に合ったやり方を身につける」ことです。ある人に良くても、他の人には合わないというように、人によってやり方は異なるものです。「やり方が分からないから勉強やらない」という人がいますが、どのやり方でも良いからやってみることが全ての始まりです。習い事や塾があり、学習時間は一概には言えませんが、「学年+1時間」をひとつの目安に頑張ってもらいたいと思います。

4は生徒理解に一層努め、問題解決に早期に対応・解決をめざし、組織的に対応していきます。また、5は学校で何かあった時には、教員から連絡を徹底する努力をしていきます。学校・家庭の連携が重要であると考えておりますので、今後もお気づきの点は遠慮なさらすご連絡ください。

校長が考える【学習意欲・学習習慣形成モデル】



自主学習の工夫について 参考にしてください ～休泊中の教員に聞いてみました～

○勉強の仕方について ～各教科毎には、担当の先生に相談すると詳しく教えてくれます。

- ① 授業ノートをもう一度、教科書を見ながら家庭学習用のノートに書き写す。
- ② 授業のワークを家庭学習用ノートにやり、提出時にもう一度（繰り返し）やって提出する。
- ③ 市販の厚くない問題集を購入し、授業のペースに合わせて進め、分からない時には先生に聞く。
- ④ 単語、漢字、計算練習、英語や国語の音読等、各教科の基礎的・基本的知識や技能は、毎日時間や練習する数を決め、繰り返し行う。
- ⑤ 単語帳や年号帳等をつくり、隙間の時間（空いた時間）に取り組む。

○時間の使い方について ～ここが重要です！

- ① 漢字や計算、ワークなどは一度やった後、間違えた問題のみチェックして再度解く。
- ② 15分、30分などタイマーをかけて、各教科の学習を順に行う。時間が来たら、予定通り行かなくても次に進む。だらだらやるより、効率的にできる。
- ③ 授業中できなかった問題に付箋を貼っておき、帰宅するまでに先生や友だちに聞いて解決する。
- ④ 勉強時間を〇時～〇時と決め、短い休憩時間（5～10分）を挟んで集中力を保つ。

○その他 ～積極性が後で役立ちます！

- ① 漢字検定や英語検定の問題集を購入し、勉強して積極的に受験する。
- ② 目で見るだけでなく、手や耳などを使って学習する方が頭に入る。